TRANSFORM 高

2016. 3. 17
第 22 号
神港学園神港高等学校
平成27年度 教育目標
文 武 兼 備

卒業生紹介コーナー

本校の同窓会を金星会といいます。名前の由来は、学校北側の諏訪山に、むかし金星を観測していた場所があり、その場所の名前を取っています。その金星台をさらに登ると、ビーナスブリッジ、ビーナステラスがあり、神戸屈指の夜景スポットになっています。

その金星会の加藤均会長をご紹介します。

本校を昭和23年に卒業後、慶應義塾大学法学部に進まれ、さらには、アメリカのカリフォルニアコースト大学院の修士課程・博士課程を修了され、政治学博士号を取得されています。

また、大阪府堺市の市会議員に11期連続当選され、議員として40年を超える活動をされ、大きく地方自治に貢献されてこられました。

現在では、大学客員教授や国際交流協会のお世話など多くの役職を兼ねられ幅広く、社会に貢献されておられます。

インドネシアやベトナムの発展にも大きく寄与されています。

先日のテレビ東京の「ガイヤの夜明け」でベトナムのマグロ漁を支援指導している「加藤均総合事務所」が放映されていました。

他にも多くの事業をされており、また著書も多数出版されております。

入学式や卒業式には、いつもご臨席頂き、後輩の皆さんに向けて温かい言葉をかけていただいています。

早速、大活躍

この春卒業しました68回生が、早速大活躍をしています。

まず、2月23日の読売新聞に「狭き門 人間性でジャッジ」とプロ野球の審判試験の取材記事が記載されていました。

その中に『神港学園3年の松本大輝さんが「ストライク」と右腕を突き上げ、「プロはやっぱり速い。難しいけど、面白い」』の文字が。

応募者130人の中から、1次試験を合格した6人と紹介されていました。

全国から集まった社会人に混じっての快挙です。

後日、最終の試験を合格した4人の中に入りましたと、うれしい報告をしてくれました。

神港学園硬式野球部の卒業生で、二人目の現役のプロ野球の審判が、誕生しました。

次にビーチバレーで全国優勝した関東亨哉君(神戸市立垂水中)が全日本アンダー19の代表に選ばれました。東京オリンピック候補？

続いて、柔道の阿部一二三君は、4月3日(日)福岡国際センターで開催される全日本選抜柔道体重別選手権大会に出場します。リオデジャネイロオリンピックの日本代表選考会となっています。

再び、みんなで喜びを分かち合える結果を期待したいと思います。

ちょっと一言 『「中華系のルーツを持ち、中国由来の文化や事業を受けついでいる人々」を日本では「華僑」と表す場合が多い』と事典にある。卒業生にも多くの華僑の方がおられ、現在も神戸で活躍されている方がたくさんおられる。華僑は世界中の国々で、裸一貫から財を大きくして、現地の人をしのぐ存在となっている。華僑の職業を表す言葉に三把刀(サンパータオ)がある。これは三つの刃物という意味で、三つの刃物を扱う技術があれば、どこでも身が立てられるといわれ、料理包丁・洋服の鋏・理髪の剃刀。手に技術ですね。